



教職員の皆様へ

# こどもまんなか戸田市の教育

## 戸田市について

29年連続県内一若い街 ～30歳代の子育て世帯増・平均年齢42.3歳(R6.1.1現在)～  
JR埼京線(北戸田駅・戸田駅・戸田公園駅)が通り、大宮駅(約15分)や都心にもアクセス便利

【人口】142,163人(R6.1.1現在) 【学校数】小学校12校 中学校6校  
【大規模校】戸田第一小・戸田第二小・新曾小・戸田東小・戸田南小・新曾北小・戸田中・新曾中・笹目中  
【小規模校】笹目小・美笹中

☞子供たちも先生方も誰一人取り残されない教育環境 ～120名を超える『市費職員』が皆さんの仲間です!～

子供たちの学び  
&  
先生方の授業準備等  
  
全力でサポート

アクティブティチャー<学習支援>(各校小1～2名、中1名)、ALT(中学校各校1名※常駐)  
スクールサポーター<不登校支援>(各校1名)さわやか相談員(中学校各1名)  
本好きサポーター<読書活動推進等>(各校1名)、理科支援員<観察実験支援>(各校1名)  
スクールカウンセラー(各校1名)、スクールソーシャルワーカー(中学校地区1名ずつ計3名)  
教育支援補助員<特別支援学級支援等>(全校各1～2名)、運動部活動指導員(中学校各6名)  
ICT教育支援員、スクールサポートスタッフ(各校1名)

## 特色ある教育

### 『戸田市 SEEP プロジェクト』による教育改革

戸田市 SEEP プロジェクトとは...

◎戸田市では、AI(人工知能)では代替できない力や AI を使いこなす力 ◎「21世紀型スキル」「汎用的スキル」「非認知(社会情動的スキル)」の育成を目指すため、SEEP プロジェクトによる教育改革に取り組んでいます。

Subject 教科の本質を捉えた授業改善  
EBPM 各種データ分析からエビデンスに基づき「授業」「生徒指導」「学校・学級経営」を科学する  
EdTech テクノロジー活用による新たな学びの創造  
PBL 実生活・実社会のリアルな課題を探究的に解決する学びの推進



☞様々な日々の戸田市の教育改革等については、上記の2次元バーコードから御覧いただくことも可能です。【戸田市教育委員会Facebook】  
また、市内各学校も日々の教育活動を発信しています。よろしければ、ぜひ、御覧ください。

## ICT活用

### ICTの文具的活用を目指し、子供たちの学びを支援

使用機器(児童生徒):Chromebook  
(教職員):Dynabook V83/KV (OS:Windows11)【他校・自宅でもwifi無線で利用可能】

- ☞ICT支援員は、全小・中学校に配置 <富士電機ITソリューション巡回支援員・ベネッセICT教育支援員>
- ☞学習支援ソフト『ロイロノート』『ミライシード』『スマイルネクストドリル』は、授業者が選択し、児童生徒は利用可能
- ☞児童生徒及び教職員に Google アカウントを付与 『Google Workspace for Education』活用研修会を実施
- ☞各教室・特別教室に電子黒板機能付プロジェクターを設置

ICT機器を文具のように活用し、個別最適な学びと協働的な学びを小中各校で推進



校務用  
&  
学習用  
他校・自宅  
でも繋がり  
どちらも使用  
可能な  
2in1PC

## 働き方改革

### 働き方改革のトップランナー 全国に先駆けて改革スタート

#### ☞戸田市教育委員会の取組

- ・校務支援システムの導入
- ・戸田市部活動方針策定
- ・部活動指導員の配置
- ・多様な人材の配置
- ・学校閉庁日の設定
- ・全教室ホワイトボード設置

#### ☞戸田市内小・中学校の取組(実情に合わせて各校で独自に実施)

- ・余剰時数の削減
- ・学校行事の精選・重点化
- ・開門(登校)時刻の見直し
- ・1単位時間の弾力的設定
- ・保護者・地域住民の理解・協力(学校運営協議会での熟議)

◎時間外在校等時間(1ヶ月45時間を超える教諭)の割合  
小学校 R6.6月...7.5%(参考数値 H28.6月76.7%)  
中学校 R6.6月...52.5%(参考数値 H28.6月79.6%)

- ・学校徴収金の現金集金の見直し(引落)
- ・働き方改革検討会議の実施(カエル会議)
- ・諸校務のDX化の促進(産官学連携含む)

## 産官学と連携した教育改革

### 産官学と連携し最先端の知のリソースを活用

産 (株)LITALICO・Google・(株)ベネッセ・(株)IGS(株)等  
官 国立教育政策研究所・国立情報学研究所 等  
学 東京大学・慶應義塾大学・お茶の水大学・東京理科大学・共栄大学 等

Googleと連携し、夏季休業期間中に開催 Google for Educatoion 研修



東京理科大学・日本薬科大学等と連携したサイエンスフェスティバルは毎年開催